SOMPO ホールディングス | Innovation for Wellbeing

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント

交付運用報告書

日本金融ハイブリッド証券オープン(毎月分配型)
円ヘッジなしコース
＜愛称＞ ジェイブリッド

追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）

作成対象期間：2018年12月15日～2019年６月14日

第65期 決算日：2019年 1 月15日　第66期 決算日：2019年 2 月14日

第67期 決算日：2019年 3 月14日　第68期 決算日：2019年 4 月15日

第69期 決算日：2019年 5 月14日　第70期 決算日：2019年 6 月14日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本の金融機関グループが発行した外貨建てのハイブリッド証券を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。なお、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第70期末　2019.6.14	
基準価額	10,252円
純資産総額	517百万円

第65期～第70期 2018.12.15～2019.6.14	
騰落率※	4.5%
期中分配金合計	240円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。
なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

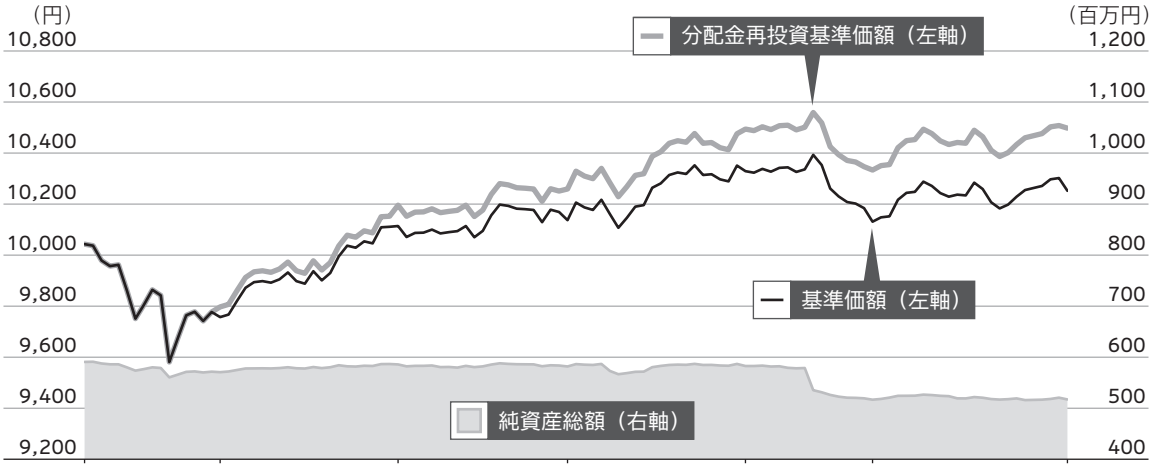
運用報告書（全体版）の閲覧方法

https://www.sjnk-am.co.jp/
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、閲覧またはダウンロードすることができます。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント
東京都中央区日本橋二丁目２番16号　共立日本橋ビル
お問い合わせ先：クライアントサービス第二部
（受付時間 営業日の午前９時～午後５時）
0120-69-5432

基準価額の推移



第65期首

基準価額
10,043円

騰落率

4.5%
（分配金再投資基準価額ベース）

第70期末

基準価額
10,252円
（期中分配金合計240円）

- 分配金再投資基準価額の推移は、2018年12月14日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

基準価額の主な変動要因

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型）　円ヘッジなしコース

高位に組入れていたマザーファンドの基準価額が上昇したため、当ファンドの分配金再投資基準価額は上昇しました。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

期中の騰落率は＋5.0%となりました。保有する日本金融ハイブリッド証券について、基準となる米国債利回りが大きく低下し、対国債スプレッドも縮小したことから、インカム収益と合わせて、所有期間利回りはプラスとなりました。なお、為替は円高に推移したことから、基準価額上昇の抑制要因となりました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

ベビーファンド　マザーファンド

1万口当たりの費用明細

期中の１万口当たりの費用の割合は 0.460% です。

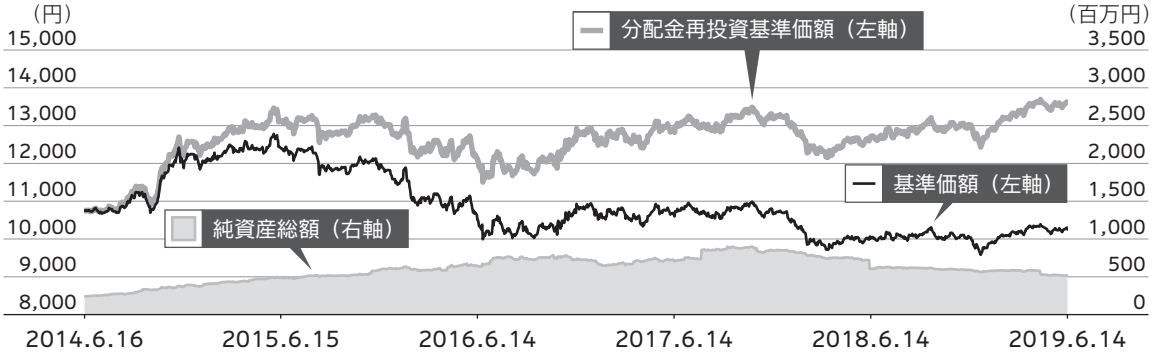
項目	第65期～第70期 2018.12.15～2019.6.14		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	46円	0.452%	(a)信託報酬＝各期中の平均基準価額×信託報酬率（年率）× 各期の日数／年間の日数 期中の平均基準価額は10,119円です。
（投信会社）	（22）	（0.215）	ファンドの運用の対価
（販売会社）	（22）	（0.215）	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	（ 2）	（0.022）	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b)その他費用＝ 各期中のその他費用／各期中の平均受益権口数
（保管費用）	（ 1）	（0.005）	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
（監査費用）	（ 0）	（0.002）	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	（ 0）	（0.001）	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	47	0.460	

注１．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

注２．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注３．比率欄は「１万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

最近5年間の基準価額等の推移　2014.6.16～2019.6.14



- 分配金再投資基準価額の推移は、2014年６月16日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

決算日		2014.6.16 決算日	2015.6.15 決算日	2016.6.14 決算日	2017.6.14 決算日	2018.6.14 決算日	2019.6.14 決算日
基準価額	（円）	10,747	12,405	10,508	10,626	10,014	10,252
期中分配金合計（税引前）	（円）	－	675	960	520	480	480
分配金再投資基準価額騰落率	（％）	－	22.2	△ 7.9	6.2	△ 1.3	7.4
純資産総額	（百万円）	240	486	641	718	602	517

投資環境

○米国債券市場

米国債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

期初から2019年初にかけて米国債利回りは大きく低下しました。2018年11月ごろからFRB（米連邦準備理事会）当局者の発言や原油価格の下落を受けて市場で利上げ観測が後退していたことに加え、株価急落や米国政府機関の一時閉鎖等を受けて市場のリスク回避姿勢が高まったことが背景となりました。その後利回りは１月上旬にそれまでの反動でやや上昇したあとは、世界経済の成長減速懸念から小幅低下傾向で推移し、さらに３月下旬にFOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げ停止の見通しとバランスシート縮小政策終了の方針が示されると利下げ観測が台頭し始め、利回りは一段と低下しました。４月には主要国の底堅い経済指標等を背景に、利回りは上昇しましたが、５月初めの米中通商問題の激化をきっかけに反転し、原油価格の下落による期待インフレ率の低下等も背景に利下げ観測が強まるなか、利回りは期末まで大きく低下しました。

○欧州債券市場

ドイツ債券利回りは低下（価格は上昇）しました。

世界的な株価下落に加え、英国のEU（欧州連合）離脱を巡る不透明感、米中通商問題の激化等を背景とした市場のリスク回避姿勢の高まりから利回りは低下しました。

○英国債券市場

英国債券利回りは小幅低下（価格は上昇）しました。

利回りは欧米債券利回りの動きに加え、EU離脱交渉を巡る不透明感が意識され低下方向での推移となりました。

○日本金融ハイブリッド証券市場

日本金融ハイブリッド証券市場は、基準となる米国債利回りが低下し、投資家の根強い需要を反映して対国債スプレッドも縮小したことから、利回りは低下（価格は上昇）しました。

○為替市場

ドル円はドル安円高となりました。

期初から2019年初にかけては、世界主要株価の急落や米国政府機関の一時閉鎖等を背景に市場のリスク回避姿勢が高まったことから、大幅にドル安円高に動きました。１月上旬以降はドル高円安方向に戻す動きとなりましたが、５月に入り米中通商問題の激化をきっかけに市場のリスク回避姿勢が再び高まると反転、市場はドル売り円買いに動き、期末のドル円は期初よりドル安円高の水準となりました。

為替レートの推移

（出所：Bloomberg）

注．為替レートは対顧客電信売買相場の仲値を使用しております。

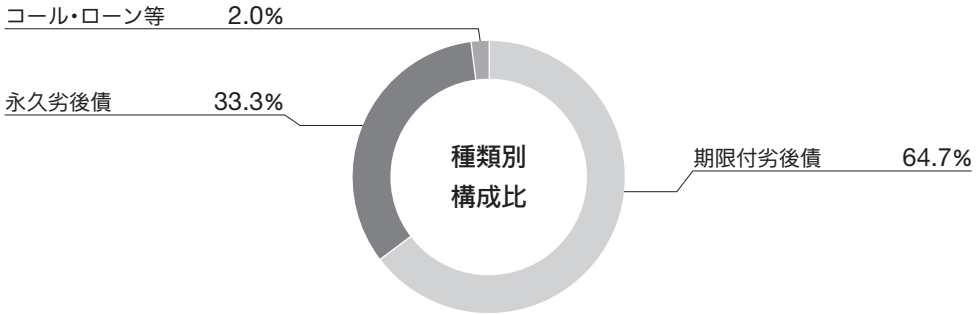
当該投資信託のポートフォリオ

期を通して日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率（対純資産総額比）は、98.8%です。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

決算日時点のポートフォリオは８銘柄で構成されています。投資している証券はすべて外貨建てとなっています。

期末時点のポートフォリオ構成は円グラフの通りです。



注１．比率は、第70期末における純資産に対する割合。

注２．端数処理の関係上、構成比合計が100%とならない場合があります。

当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券を主要投資対象とするファンドです。そのため、当ファンドのコンセプトに適った指数等が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は記載しておりません。

分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、合計240円の分配を行いました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり・税引前）

項目	第65期 2018.12.15 ～ 2019.1.15	第66期 2019.1.16 ～ 2019.2.14	第67期 2019.2.15 ～ 2019.3.14	第68期 2019.3.15 ～ 2019.4.15	第69期 2019.4.16 ～ 2019.5.14	第70期 2019.5.15 ～ 2019.6.14
当期分配金	**40**	**40**	**40**	**40**	**40**	**40**
（対基準価額比率）	0.408%	0.394%	0.393%	0.386%	0.393%	0.389%
当期の収益	30	36	25	39	29	30
当期の収益以外	10	3	15	0	11	10
翌期繰越分配対象額	1,796	1,793	1,787	1,787	1,779	1,776

注１．「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注２．円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注３．当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

決算期毎にインカム収入※を中心に分配を行うことを目指すファンドです。

※ インカム収入とは、ハイブリッド証券の利子または配当収入等をいいます。

・ ファンドに蓄積された過去の運用成果（分配原資）を加味する場合があります。

・ 投資対象資産や為替の値動き等により基準価額が下落した場合でも、原則として、インカム収入相当については、分配を行います。

今後の運用方針

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型）　円ヘッジなしコース

今後も、日本金融ハイブリッド証券マザーファンドの組入水準を高位に維持することで、中長期的なトータルリターンの向上を目指します。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

投資環境の変化を引き続き注視しながら、現在のポートフォリオ特性を今後も原則維持する方針です。また適宜利回りの高い債券への入替えを行い、トータルリターンの向上を図る方針です。

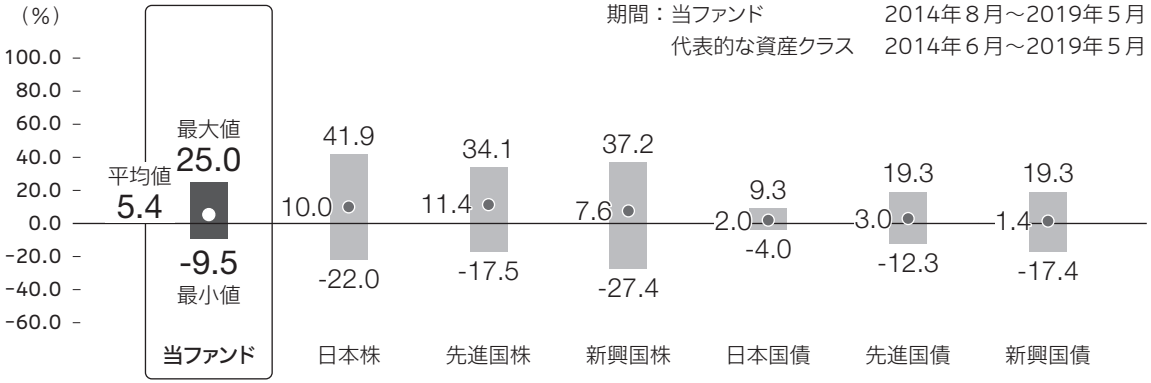
当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産（ハイブリッド証券）
信託期間	2013年８月29日から2023年６月14日
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的とします。
主要投資対象	**日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型）　円ヘッジなしコース** 日本金融ハイブリッド証券マザーファンド受益証券
	日本金融ハイブリッド証券マザーファンド 日本の金融機関グループが発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券
運用方法	① 日本の金融機関グループ（銀行本体、保険会社およびそれぞれの子会社、関連会社等を含みます。）が発行した外貨建て（米ドル建て、ユーロ建て、英ポンド建て、豪ドル建て等）のハイブリッド証券（期限付劣後債、永久劣後債、優先出資証券等をいいます。）を主要投資対象とし、信託財産の成長を目指します。 ② 外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。 ③ 原則、毎月14日（休業日の場合は翌営業日）の決算時に収益の分配を行います。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較

当ファンドと代表的な資産クラスの対象期間が異なりますので、ご留意ください。

期間：当ファンド　2014年８月～2019年５月
代表的な資産クラス　2014年６月～2019年５月



＊ 上記期間の各月末における直近１年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

＊ 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金（税引前）再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関しての詳細は14～15ページをご参照ください。

当該投資信託の組入資産の内容

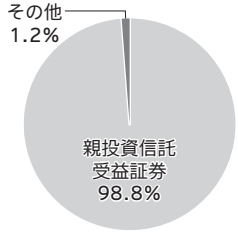
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第70期末 2019.6.14
日本金融ハイブリッド証券マザーファンド	98.8%

注．比率は第70期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分

通貨別配分

注．比率は第70期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

純資産等

項目	第65期末 2019.1.15	第66期末 2019.2.14	第67期末 2019.3.14	第68期末 2019.4.15	第69期末 2019.5.14	第70期末 2019.6.14
純資産総額	570,597,931円	585,780,503円	581,774,929円	582,668,256円	516,676,702円	517,133,631円
受益権総口数	584,826,390口	579,152,429口	573,934,357口	564,106,080口	510,006,278口	504,417,206口
１万口当たり基準価額	9,757円	10,114円	10,137円	10,329円	10,131円	10,252円

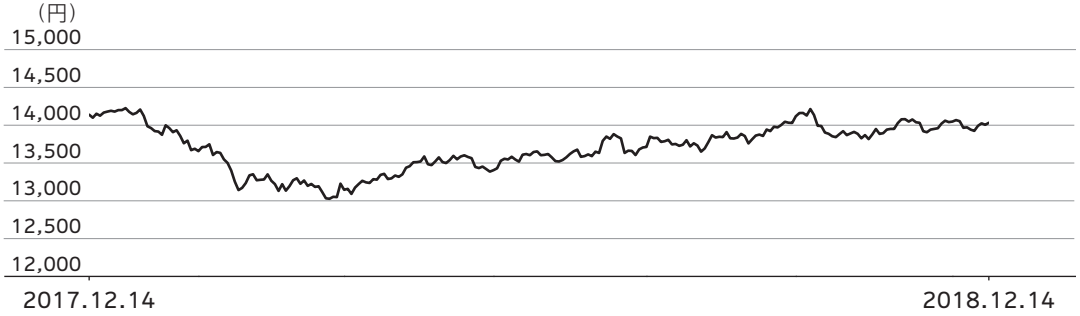
※ 当作成期間（第65期～第70期）中における追加設定元本額は23,970,153円、同解約元本額は107,704,280円です。

組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

日本金融ハイブリッド証券マザーファンド

基準価額の推移



1万口当たりの費用明細

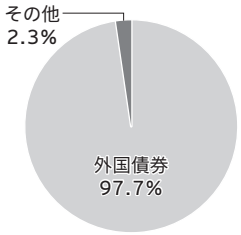
項目	2017.12.15～2018.12.14	
	金額	比率
その他費用	2円	0.011%
（保管費用）	（2）	（0.011）
（その他）	（0）	（0.000）
合計	2	0.011

期中の平均基準価額は13,710円です。

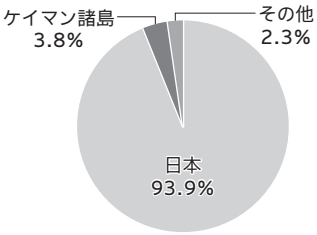
組入上位10銘柄

	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	MEIJIYASUDA 5.2 251020	社債券	アメリカ・ドル	日本	27.3%
2	DAI-ICHI 4.0 260724	社債券	アメリカ・ドル	日本	27.1%
3	NIPPON LIFE 4.7 260120	社債券	アメリカ・ドル	日本	24.0%
4	SUMITOMO LIFE 6.5 230920	社債券	アメリカ・ドル	日本	7.9%
5	MIZUHO FG 4.6 240327	社債券	アメリカ・ドル	ケイマン諸島	3.8%
6	MS INSURANCE 7.0 220315	社債券	アメリカ・ドル	日本	2.9%
7	SMBC 4.436 240402	社債券	アメリカ・ドル	日本	2.4%
8	NIPPON LIFE 5.1 241016	社債券	アメリカ・ドル	日本	2.2%
9	－	－	－	－	－
10	－	－	－	－	－
	組入銘柄数		８銘柄		

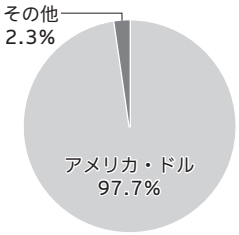
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注１．基準価額の推移、１万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注２．１万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については３ページ（１万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注３．組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2018年12月14日）現在のものです。

注４．比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

指数に関して

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東京証券取引所第一部上場全銘柄の基準時（1968年１月４日終値）の時価総額を100として、その後の時価総額を指数化したものです。東証株価指数（TOPIX）は、東京証券取引所の知的財産であり、東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界主要国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に計算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

NOMURA-BPI国債

野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。NOMURA-BPIに関する一切の知的財産権その他一切の権利は、すべて野村證券株式会社に帰属します。野村證券株式会社は、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

▌FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

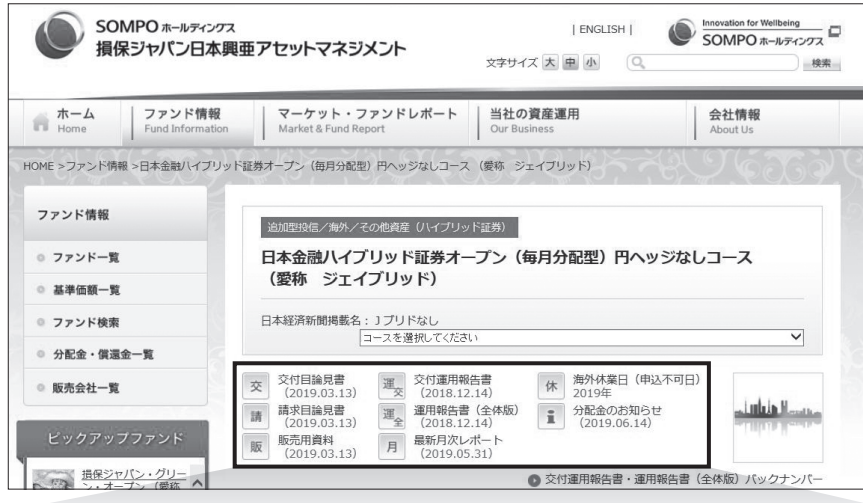
▌JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出し公表している指数で、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。同指数の著作権はJ.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

日本金融ハイブリッド証券オープン（毎月分配型）　円ヘッジなしコース　検索

https://www.sjnk-am.co.jp/fund/0939/price.html



各書類の最新版をご確認いただけます。

交 交付目論見書
当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交 交付運用報告書
当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休 海外休業日（申込不可日）
購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請 請求目論見書
交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全 運用報告書（全体版）
交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

分配金のお知らせ
決算期の分配金の推移についてお知らせいたします。

販 販売用資料
目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月 最新月次レポート
当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。